

# 自己評価表

事業所名 バディー

令和7年度

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・利用者によってスペースを利用する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・排泄処理のある利用者が多数の時は職員の対応も増える ・状態等に応じて対処している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・玄関前に段差がありバリアフリーではないが室内はバリアフリー ・その日の予定を貼っている ・声掛け視覚的に理解できるよう工夫している ・生活空間は子供に分かりやすく構造化されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・食事する食堂と活動するルームで区切っている ・子供たちの活動に合わせた空間を取る ・毎日きちんと掃除消毒等、環境整備を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・パーティションを利用し個別の空間を作ることができる ・パーティションで区切る ・個別の部屋はないが必要に応じて場所を使用している ・パーティション等で区切ったり個室はないが対応している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・会議やアンケート（紙）で話をする機会を定期的に設けている ・朝礼で伝達する、携帯からの伝達など
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者の意向等を把握する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・月1回会議で意見を交換することができる ・職員の意見を把握する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・評価結果を業務改善に繋げる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・ジョブメドレーを活用 ・研修を受講する
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・支援プログラムを作成、公表する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・自発管からの情報をもらう ・計画を作成する
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・会議を行い意見交換、検討をしている ・ミーティングなどで話し合う ・共有する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・会議で計画を共有する時間を設けている ・計画にあった支援を行う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・苦手なこと、興味あることを把握し聞き取りやカード等を使用
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・地域支援、地域連携で設定されているのかわからない

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・チーム制ではないが立案を行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・固定化しないように活動する
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・計画を作成している。応じて支援を行う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼で一日の活動、分担等を決めて実行する ・連携し支援を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・気付いたこと、報告をしている（相談含め） ・支援終了後、打ち合わせはないが連絡等で共有している ・支援終了後に出来てはいるが翌日確認出来ている ・ラインワークスで共有
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録し改善に繋げている
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・状況に応じて見直しを行う
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	2	・自立支援、搜索活動、余暇提供は日々行っているが地域交流は年間とうして少ない ・複数組み合わせ合わせて行っている ・地域交流は中々機会がない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・自分で考えて行動や発言が出来るよう見守る ・子供にあった支援を行う
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・分からないが出来ていると思う
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・分からないが出来ていると思う
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校での様子や親御さんからの情報の聞き取りが出来ている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・出来ていると思う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・出来ていると思う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・機会があれば設けている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・計画して行うことなし ・活動する機会があればする
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・分からないが参加している？と思う ・積極的…？
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・ミーティング、朝礼などで伝達 ・状況や課題に共通理解を持つ
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	・情報共有は出来ている

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・共有し報告している
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・所長や正社員で対応している ・苦情はほほない
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・HUGで行っている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	・研修で行っている ・訓練場行っていない ・障害のある子供と一緒にどういった避難をした方がいいのか訓練が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	4	・ミーティングでの話し合いが必要 ・訓練を定期的に行えるといい ・意識はしているが訓練は行っていない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・研修はしている ・訓練が充分ではない
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ラインワークスでの共有、ミーティングで振り返り話す
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・事後報告になるが説明し理解したうえで対応 ・身体拘束はない